

令和５年度 岐阜市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和６年５月

岐阜市（岐阜県）

○計画期間：令和５年４月～令和１０年３月（５年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和５年度終了時点（令和６年３月３１日時点）の中心市街地の概況

岐阜市中心市街地活性化基本計画では、目指す中心市街地の都市像に「ここにしかない時間の過ごし方をつくり、日常的に訪れたくなるまち」を定め、「時間を消費したくなるような魅力づくり」、「選ばれるまちなか暮らし」を基本方針に掲げる中、まちなかの滞在時間の向上、来街者数の増加、まちなか暮らしを選択する人の増加に向け、各種事業に取り組んでいる。

計画の初年度である令和５年度は、令和５年３月にリニューアルされたセントラルパーク金公園や市街地再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル３５」の開業によりまちの様相が変化し、柳ヶ瀬を中心に親子連れなど新たな人の流れや賑わいが生まれつつある。

また、「リノベーションスクール」や「柳ヶ瀬日常ニナーレ」など、これまでのリノベーションまちづくりを通じたまちづくりの担い手育成により、将来のまちを支える若い世代が育ち、魅力的なコンテンツの創出につながっている。

さらに「金華橋ストリートパークライン」や「長良橋通りトランジットモール社会実験」といった新たな道路空間の利活用への試みや、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指した自動運転バス「G I F U HEART BUS」の継続運転などの取り組みにより、今後の中心市街地における回遊性の向上も見込まれる。

しかしながら、令和５年１０月にはこれまで柳ヶ瀬の活性化や集客力の向上に大きく寄与してきた岐阜高島屋が令和６年７月末で閉店することが発表され、発表当初は商店街全体が動揺することとなったが、商店街関係者による勉強会が開催されるなど、新たな柳ヶ瀬のまちづくりについて自発的に取り組む姿も見られ、官民連携で新たな課題の解決に向けて取り組んでいく。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(基準日：毎年度10月1日)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	8,934 人	9,374 人				
人口増減数	△16 人	461 人				
自然増減数	△115 人	△108 人				
社会増減数	99 人	569 人				
転入者数	594 人	729 人				

※「人口」は各年10月1日時点で算出、「人口増減数」は各月ごとの人口動態の累計として算出しており、端数処理の回数の違いから、「人口の年度間の差」と「人口増減数」は必ずしも一致していない。

2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

昨年度、岐阜市の中心市街地は大きく動いた一年であった。

令和4年度末には柳ヶ瀬の新たなランドマークとして、住宅や商業施設、公共施設を有する柳ヶ瀬グラスル35のオープンに加え、隣接する金公園もセントラルパークとしてリニューアルされ、まちの様相が大きく変わった。

こうしたなか、新型コロナウイルス感染症の5類移行も重なり、柳ヶ瀬を中心に新たな人の流れやにぎわいが生まれ、計画初年度である令和5年度末における数値目標は、3つの指標のうち「金公園の地下駐車場の総利用時間」、「居住人口の人口動態」の2つについて目標値を達成することとなり、中心市街地の活性化につながったものと評価する。

しかし、年度の後半にはこれまで商店街の核的商業施設でもあった岐阜高島屋の閉店が発表され、様々な情報が飛び交うこととなったが、地元を中心に商店街の再生事例を学ぶ勉強会も開催されるなど、前向きな動きも生まれつつある。

本協議会としては、新たな課題に対しても様々な関係者が広い視点から議論し、ベクトルを合わせて取り組むとともに、充実しつつあるハード面に対してソフト面についても注力していくことが重要であると考えている。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
滞在性の向上	金公園地下駐車場の総利用時間	268,628 時間(R3)	318,000 時間(R9)	320,535 時間(R5)	A	-	①
来街者数の増加	歩行者・自転車通行量 [休日と平日の平均](中心市街地の21地点)	38,600 人/日 (R3)	45,700 人/日 (R9)	40,996 人/日 (R5)	B	-	①
まちなか暮らしを選択する人の増加	居住人口の人口動態	△183人 (H30～R4 累計)	400人 (R5～R9 累計)	461人 (R5)	A	-	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「金公園地下駐車場の総利用時間」

主要事業は概ね順調に進捗している。引き続き金公園活用事業の着実な推進や健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」の利用者の増加に努めることで、目標の達成は可能と見込んでいる。

「歩行者・自転車通行量」

主要事業は概ね順調に進捗しているため、目標の達成は可能と見込んでいる。今後はリノベーションまちづくり事業や、スタートアップ支援事業によるまちの魅力となるコンテンツ創出に加え、令和5年度に事業追加を行った「本庁舎跡活用事業」や「旧若宮町支店跡地活用事業」を着実に進め、さらなる来街者の増加を目指す。

「居住人口の人口動態」

主要事業は概ね順調に進捗している。引き続き金公園活用事業の着実な推進や健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」の利用者の増加に努めるとともに、柳ヶ瀬広場整備事業を着実に進めることで、目標の達成は可能と見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは行っていない（フォローアップ初年度）

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（１）「金公園地下駐車場の総利用時間」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 56～P. 65 参照

●調査結果と分析



※調査方法：駐車場精算機による集計

※調査月：3月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：柳ヶ瀬に隣接した市営駐車場



〈分析内容〉

令和5年度の金公園地下駐車場の総利用時間は、320,535 時間となり、目標値である318,000 時間を達成した。これは、令和5年4月に柳ヶ瀬グラッスル35内に公益的施設として同時オープンした健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」の年間利用者数がSNSによるイベント告知や隣接するセントラルパーク金公園との相乗効果により、当初の想定利用者数を概ね達成したことが要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 柳ヶ瀬広場整備事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～令和9年度
事業概要	柳ヶ瀬のさらなる魅力の創出とまちの価値の向上を確実に実現するため、交流空間やレクリエーション空間など、多様な機能を有した広場を柳ヶ瀬の中心に整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度） 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】6,213 時間/年 【最新値】— 令和5年度：土地・建物等の補償契約締結
事業の今後について	引き続き、広場の整備に取り組む。

②. リノベーションまちづくり事業（岐阜市）

事業実施期間	令和4年度～
事業概要	まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源が持つ魅力を活かした体験プログラムを提供すること（「柳ヶ瀬日常二ナール」の開催）を通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	柳ヶ瀬日常二ナールの開催による、まちづくりの担い手育成・裾野拡大 担い手による提供されたプログラム数 令和5年度：56プログラム（令和4年度：49プログラム） プログラム参加者数 令和5年度：426人（令和4年度：367人）
事業の今後について	引き続き、柳ヶ瀬日常二ナールの開催に加え、増加しつつある夜間滞在者（居住者を含む）がまちとの関わりを持つための夜間プログラムの開催により、更なるまちづくりの担い手育成・裾野拡大に取り組む。

③. 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和５年度～
事業概要	柳ヶ瀬グラスル３５内において、隣接する中保健センターと連携し、健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する健康・運動施設を運営する。 また、市の施策である都市型クアオルト健康ウォーキングの拠点として、情報発信やウォーキングの受付を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 3,236 時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 【最新値】 5,826 時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

④. 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和５年度～
事業概要	柳ヶ瀬グラスル３５内において、遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援するための、子育て支援施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 3,236 時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 【最新値】 5,826 時間/年（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

⑤. ぎふしスタートアップ支援事業（岐阜市）

事業実施期間	令和３年度～
事業概要	JR 岐阜駅と直結する岐阜イーストライジング２４内において、リモートオフィスの運営とスタートアップ相談窓口の二本柱としたスタートアップ支援事業を行い、多様なライフスタイルに対応できる労働環境を提供するとともに、起業家数の増加や新たな事業やサービスの創出などを図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和５年度）

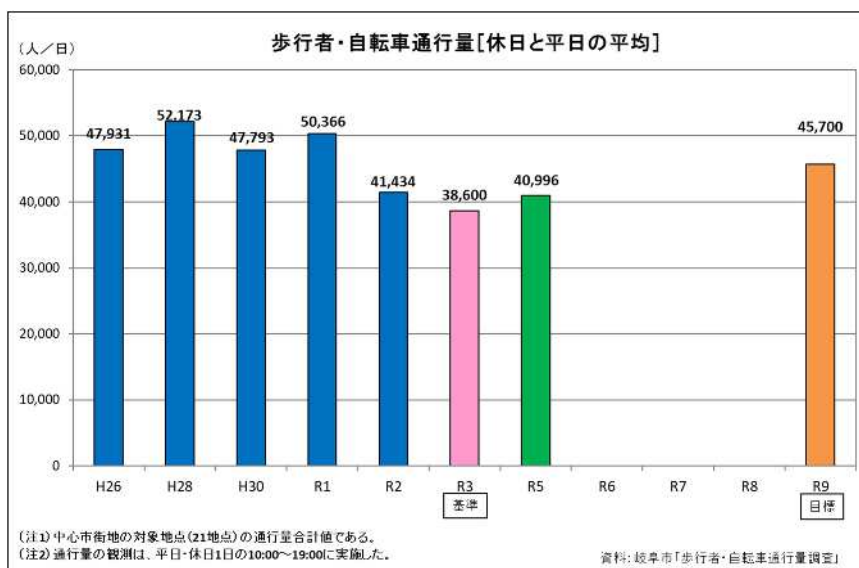
事業目標値・最新値及び進捗状況	スタートアップ相談窓口における相談件数 令和5年度：561件（令和4年度：584件） 相談者のうち起業した件数 令和5年度：27件（令和4年度：23件） 相談者に対する起業者の割合を比較すると、令和4年度の3.9%に対し、令和5年度は4.8%（+0.9%）に増加している。
事業の今後について	スタートアップ企業の創出・支援など推進する「スタートアップ推進室」を新設し、起業を促す環境づくりを進め、起業を志すプレイヤーの増加に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は順調に進捗している。令和5年4月30日に同時オープンした岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」及び岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」の初年度の施設利用者は各施設の整備計画策定時の利用者数を概ね達成しており、引き続き施設利用者の増加に努めることで目標達成は可能と見込んでいる。

（２）「歩行者・自転車通行量[平日と休日の平均]（中心市街地の21地点）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 66～P. 78 参照

●調査結果と分析



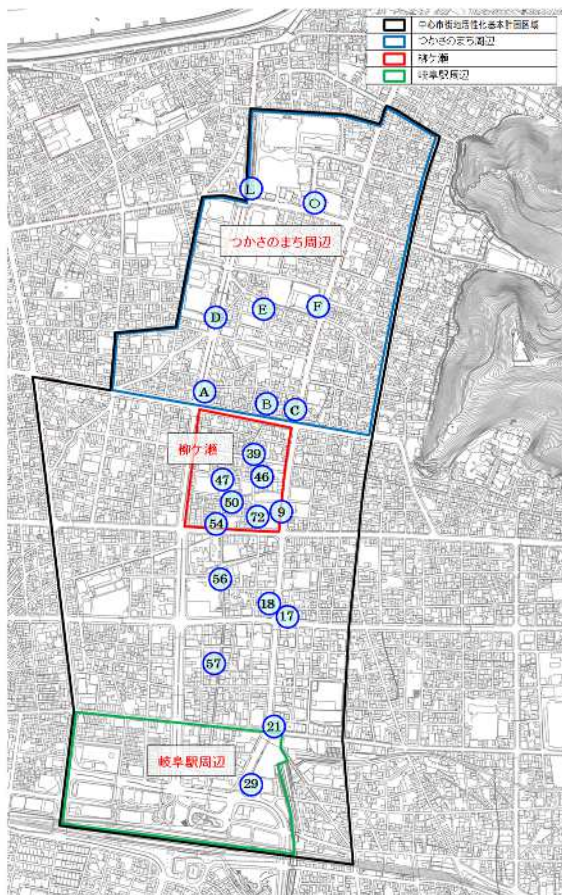
年	(単位) 人/日
R3	38,600 (基準年値)
R5	40,996
R6	
R7	
R8	
R9	45,700 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査を中心市街地の対象地点（21 地点）において、平日 1 日、休日 1 日の 10:00～19:00 に実施

※調査月：9 月

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地の 21 地点（つかさのまち周辺、柳ヶ瀬、神田町・玉宮、岐阜駅周辺）における歩行者及び自転車の通行量



〈つかさのまち周辺〉

A	金町 1	細田ビル前
B	若宮町 4	武蔵野ビル付近
C	神田町 2	岐阜信用金庫若宮町支店前
D	明徳町	トリムシアター岐阜西南角
E	江川町	旧岐阜市役所西別館前付近
F	今沢町	旧岐阜市役所東
L	美江寺町 2	岐阜市役所 西南
O	美江寺町 1	美江寺公園西北

〈柳ヶ瀬〉

9	神田町 5	旧ドン・キホーテ東側
39	柳ヶ瀬通 2	オアシス柳ヶ瀬南側
46	日ノ出町 1	平木屋商店前
47	日ノ出町 2	CINEX 西側
50	神室町 2	花うさぎ前
54	徹明通 2	叶夢前
72	徹明通 1	旧ドン・キホーテ西側

〈神田町・玉宮〉

17	神田町 6	岐阜信用金庫本店西側
18	神田町 6	円徳寺南東角
56	八幡町	サイフォンラーメン大重食堂岐阜店前
57	玉宮町 1	レザック北川前

〈岐阜駅周辺〉

21	神田町 8	白木ビル西側
29	神田町 10	長良橋通歩行者デッキ階段下

(単位：人)

	令和3年度 (基準年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
つかさのまち 周辺(8地点)	4,953	5,176				
柳ヶ瀬 (7地点)	17,507	18,427				
神田町・玉宮 (4地点)	6,721	8,300				
岐阜駅周辺 (2地点)	9,418	9,093				
合計	38,600	40,996				

〈分析内容〉

令和5年度の歩行者・自転車通行量[平日と休日の平均](中心市街地 21 地点)は、40,996 人/日となり、基準年度である令和3年度の 38,600 人/日を 2,396 人/日(+6.2%)上回った。

これは新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限の解除により、飲食店が多い神田町・玉宮地区における通行量の回復が堅調であるとともに、柳ヶ瀬地区におい

ては令和5年3月に県下最大の335戸の住宅、商業施設、公益的施設を有する市街地再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」のオープンに加え、隣接するセントラルパーク金公園の整備完了、4月には柳ヶ瀬グラスル35内に公益的施設として健康運動施設「ウゴクテ」と子育て支援施設「ツナグテ」が同時にオープンし、居住者や新たにまちに来街する人の流入により、歩行者・自転車通行量は回復傾向にあると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 柳ヶ瀬広場整備事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～令和9年度
事業概要	柳ヶ瀬のさらなる魅力の創出とまちの価値の向上を確実に実現するため、交流空間やレクリエーション空間など、多様な機能を有した広場を柳ヶ瀬の中心に整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度） 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】4,042人/日 【最新値】— 令和5年度：土地・建物等の補償契約締結
事業の今後について	引き続き、広場の整備に取り組む。

②. リノベーションまちづくり事業（岐阜市）

事業実施期間	令和4年度～
事業概要	まちづくりに興味がある人たちが、まちの新旧の様々な資源が持つ魅力を活かした体験プログラムを提供すること（「柳ヶ瀬日常二ナール」の開催）を通して、まちづくりの担い手の育成・裾野拡大を図る。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	柳ヶ瀬日常二ナールの開催による、まちづくりの担い手育成・裾野拡大 担い手による提供されたプログラム数 令和5年度：56プログラム（令和4年度：49プログラム） プログラム参加者数 令和5年度：426人（令和4年度：367人）
事業の今後について	引き続き、柳ヶ瀬日常二ナールの開催に加え、増加しつつある夜間滞在者（居住者を含む）がまちとの関わりを持つための夜間プログラムの開催により、更なるまちづくりの担い手育成・裾野拡大に取り組む。

③. 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、隣接する中保健センターと連携し、健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する健康・運動施設を運営する。 また、市の施策である都市型クアオルト健康ウォーキングの拠点として、情報発信やウォーキングの受付を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,436人/日（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 【最新値】2,611人/日（※岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設運営分との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

④. 岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援するための、子育て支援施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,436人/日（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 【最新値】2,611人/日（※岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業との合算） 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設運営分との合算により、事業による目標値を達成。
事業の今後について	事業目標値の達成状態の維持に向け、更なる施設利用者の増加に努める。

⑤. ぎふしスタートアップ支援事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～
事業概要	JR 岐阜駅と直結する岐阜イーストライジング24内において、リモートオフィスの運営とスタートアップ相談窓口の二本柱としたスタートアップ支援事業を行い、多様なライフスタイルに対応できる労働環境を提供するとともに、起業家数の増加や新たな事業やサービスの創出などを図る。
国の支援措置名	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度）

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	スタートアップ相談窓口における相談件数 令和5年度：561件（令和4年度：584件） 相談者のうち起業した件数 令和5年度：27件（令和4年度：23件） 相談者に対する起業者の割合を比較すると、令和4年度の3.9%に対し、令和5年度は4.8%（+0.9%）に増加している。
事業の今後について	スタートアップ企業の創出・支援など推進する「スタートアップ推進室」を新設し、起業を促す環境づくりを進め、起業を志すプレイヤーの増加に取り組む。

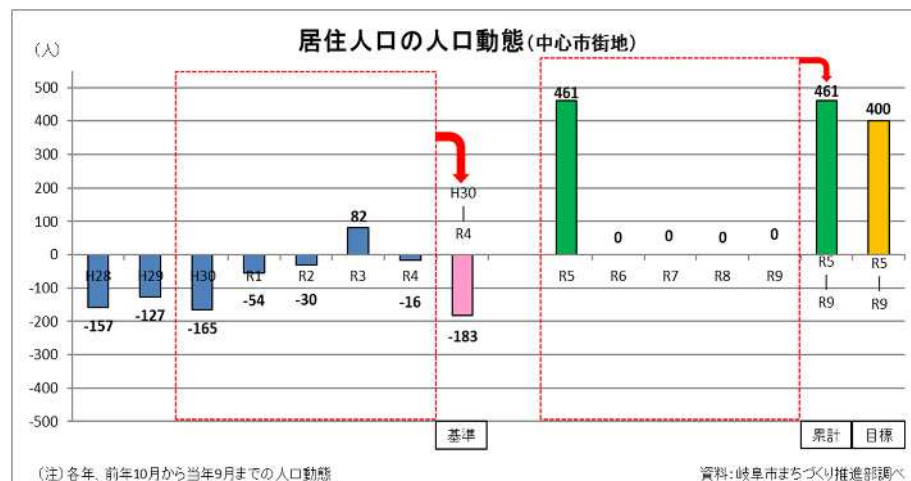
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

健康運動施設「ウゴクテ」や子育て支援施設「ツナグテ」の施設利用者数は堅調であり、引き続きリノベーションまちづくり事業によるまちづくりの担い手の継続的な育成・創出に加え、ぎふしスタートアップ支援事業による創業希望者向けの相談窓口の開設や新規出店者への伴走支援を行うことにより、まちの魅力となるコンテンツの創出に取り組むことで目標達成は可能と見込んでいる。

（３）「居住人口の人口動態」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 79～P. 82 参照

●調査結果と分析



年	（人）
H30- R4	△183 （基準年値）
R5	461
R6	
R7	
R8	
R9	400 （目標値）

※調査方法：岐阜市「住民基本台帳人口」を調査

※調査月：前年10月～当年9月までの1年間

※調査主体：岐阜市

※調査対象：中心市街地

(単位：人)

	平成30年度 ～令和4年度 (基準年値)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
社会増減数	147	569				
自然増減数	△420	△108				
人口動態	△183	461				

〈分析内容〉

令和5年度の居住人口の人口動態は、461人のプラスとなり、目標値である400人を達成した。これは、令和5年3月に県下最大の335戸の住宅、商業施設、公益的施設を有する市街地再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」のオープンや民間住宅供給による効果の発現によるものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 柳ヶ瀬広場整備事業（岐阜市）

事業実施期間	令和3年度～令和9年度
事業概要	柳ヶ瀬のさらなる魅力の創出とまちの価値の向上を確実に実現するため、交流空間やレクリエーション空間など、多様な機能を有した広場を柳ヶ瀬の中心に整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集支援事業（国土交通省）（令和5年度～令和9年度） 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年度：土地・建物等の補償契約締結
事業の今後について	引き続き、広場の整備に取り組む。

② 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～
事業概要	柳ヶ瀬グラスル35内において、隣接する中保健センターと連携し、健康に対する意識や知識を育み、運動を通じた健康づくりを支援する健康・運動施設を運営する。 また、市の施策である都市型クアオルト健康ウォーキングの拠点として、情報発信やウォーキングの受付を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年度施設利用者数：54,254人 (R5.4.30 オープン 営業期間 11 カ月)

	高島屋南地区公共施設（健康・運動施設）管理運営計画で定めた年間利用者数（55,500 人/年、50,875 人/11 カ月）は達成した。
事業の今後について	施設利用者の増加に努め、新たな民間投資の誘発につながる施設運営に取り組む。

③岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業（岐阜市）

事業実施期間	令和5年度～
事業概要	柳ヶ瀬グラッスル35内において、遊びを通じて子どもの生きる力を養い、次代を担う子どもを育むとともに、子育て家庭を支援するための、子育て支援施設を運営する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年度施設利用者数：192,281 人 岐阜市高島屋南地区公共施設整備事業基本計画で定めた年間利用者数（80,000 人/年）を達成。
事業の今後について	更なる利用者数の増加に努め、新たな民間投資の誘発につながる施設運営に取り組む。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

引き続き、柳ヶ瀬広場整備事業や岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設事業、岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設事業など、まちなかで暮らしたくなるような環境づくりにより、目標値の達成状況を維持することで、目標達成は可能と見込んでいる。